

「南あわじ市子ども・子育て支援事業計画（素案）」に対する市民意見募集の結果

1. 意見募集期間 : 令和6年12月6日（金）～令和7年1月7日（火）

2. 意見提出件数 :

提出方法	人数
持参	—
郵送	—
F A X	—
E メール	1 人
計	1 人

（内容別 3 件）

3. 市の対応区分

	対応区分	件数（件）	分野No.
A	意見を反映し、案修正したもの	0	
B	意見や主旨、考え方が既に案に入っているため修正を要しないものと判断したもの	1	2
C	案の対象外であるが、今後の事業推進の際の参考とするもの	1	3
D	意見を反映せず、案どおりとしたもの	0	
E	その他（要望）	1	1
	計	3	

提出された意見の概要と意見に対する市の考え方

「南あわじ市子ども・子育て支援事業計画（素案）」にかかる意見募集について、1名から意見が提出されました。

意見募集期間：令和6年12月6日（金）～令和7年1月7日（火）

No.	分野	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	保育	● 保育園の給食を主食（白米）も含めて完全給食にしてもらいたい 大きな改革よりもまずは日々のことから改善してもらいたい。補助金が出ない等の理由があるかもしれませんが、働く保護者にとっては毎日の負担となっています。毎日保育園に持参させるためだけに早朝から0.5合のお米を炊いておにぎりにしなければなりません。子供は、せっかくの給食にお米だけ冷えて少し固くなったおにぎりを食べなければならないのです。夏季には食中毒の心配もしなければなりません。給食代が上がってもいいので、温かいご飯を食べさせてあげてください。せっかく南あわじ市のような米所でありながら、いつの時代の政策を現代まで続けているのでしょうか。	● ご意見ありがとうございます。 完全給食を実施する場合、これまで通りのおかずに加え、白ごはんを提供することとなり、炊飯する設備はありますが、配膳するスペースの不足や、その時間を補う人員が必要となってくるため、完全給食及び適温の白ご飯の提供が難しいのが現状です。 また、通年での完全給食の実施には人員や設備的な課題に加え、保護者の皆さまに給食費の負担増にご理解・ご協力いただく必要があります。完全給食への移行は、今後必要なことと認識しており、前向きに検討し実現に向けて取り組んでいきたいと考えています。

No.	分野	意見の概要	意見に対する市の考え方
2	少 子 対 策	● 子供が自由に遊べる公園等の施設を増やしてほしい リターンで淡路に戻り子育てをしています。都会と比べて田舎ほど子どもが自由に安心して遊ぶことのできる公園が少ないことに気づきました。自然豊かでいいねと言われますが山や田で子どもを遊ばせるわけでもありません。親子ともに気晴らしにもなり、体を動かして遊ぶことができる環境は大切だなと子育てをして公園の有り難さを身に染みて感じました。神戸市の「こべっこランド」のような室内遊び場もあれば天候を気にせず遊ぶことができるのでとても助かります。ゆめるんセンターはありますが、3歳までのため、それ以上になるとたちまち自由に遊べる室内遊び場がなくなってしまうため困っています。また、土日祝日も（月1回だけでなく）開設してもらえると助かります。	● ご意見ありがとうございます。 アンケート調査の結果からも、「親子または子どもが遊べる公園等の施設を増やしてほしい（公園、屋内遊戯場など）」という意見が多く、親子ともに日常から距離を置き、リフレッシュすることのできる場が求められていると感じています。計画では基本目標3において、めざすまちづくりを掲げており、公園を含む拠点や子どもの居場所づくりにも取り組んでまいります。 ゆめるんセンターは園庭や複数のプレイルームがあり、小学校就学前のお子さまと保護者の皆さまにご利用いただけ、各地域では出前広場も開催しています。休日もゆめるんセンターの園庭は開放しており、小学校の校庭開放も実施しています。（実施していない施設もございますので詳しくは子育て支援ハンドブックを参照いただくか、お問い合わせください。） また、各地区の公民館ではキッズスペースが設けられ、おもちゃ等を用意しています。地域で遊べる行事やイベントも企画されており、盛り上がりを見せ注目されていますので、そちらもぜひご参加いただければと思います。利用時間等はお問い合わせください。 ご意見については今後もたくさんの方の子育て支援の一助になり得るよう事業の検討の参考にさせていただきます。

No.	分野	意見の概要	意見に対する市の考え方
3	保育	● 保育園の預けはじめの時間と延長保育の時間を拡張してもらいたい 園の開所時間が8時から18時では、仕事のため開園時間と共に預けても出勤時間に余裕がなく、帰りは閉園時間までに間に合わないため迎えは祖母に依頼している状況です。延長保育のために遠方の施設へ預けることも現実的ではありません。仕事をセーブするか実家の援助がなければ田舎ではフルタイムで仕事を続けることも困難です。せめてどの園でも7時から19時まで保育園の開所時間を延長してもらいたい。延長保育の使用率だけを見ず、使用したくても使用できない家庭もあることを知ってもらいたいです。土日保育が拡充されましたが、保育士さんが大変かとは思いますが開所施設も増設してもらえると有り難いです。	● ご意見ありがとうございます。 延長保育は神代保育所・市こども園で実施しています。すべての園での実施は保育士が不足している現状から難しい状況です。まずは保育士確保に努めつつ、利用状況に配慮しながら効率的かつ効果的に利用してもらえよう開設時間を検討してまいります。また、施設の統廃合を前提とした、開設時間の延伸や土曜日保育の拡充など、保育サービスの充実に取り組んでまいります。